

平成17年9月6日大水害
あれから10年

教訓は生かせるか：

>28<

パネルディスカッション

「災害の教訓を生かす、
自助・共助・公助」

【杉尾】では続いて、
猪狩さん、いかがですか。

【猪狩】最近の災害の
傾向はだんだん大規模
化しているのかなと感
じています。雨が降れ
ば降り方が激しいです
ね。地域で防災力を付
けてきていると思う
のですが、これを超えて
くるということも今後
は考えられるかなと
思います。

防災士という立場か
ら、人々の興味がマス
コミに影響されてきて
いるのかなと感じてい
ます。

例えはつい最近まで
は4年前の東日本大震
災でした。地震もそろ
う。

けです。
延岡においては、地
震の備えはもちろん大
事ですが「水郷延岡」
と言われるように、毎
年やってくる台風です
ね。どの程度かという
のは別として、台風は
毎年やってくるわけで
す。

だから、台風とかの
水害には、マスクミの
影響を考慮すべし、常日
ごろ、やっぱり延岡に
住んでいる人はいつも
関心を持っていただき
たいなどいうのが正直
な気持ちです。

情報といえば、イン
ターネットもあります。
私もインターネット
をやっておりま
すが、お気に入りに登録
をたくさんしておりま
す。ところが、初めてだ
となかなか難しいんで
すね。台風が来て初め
います。

通省の雨の部分、これ
は非常に役に立つてい
ます。

てホームページに入る
んじゃなくて、どこを
クリックしたら何が出
てくるのかというのを
日常的に訓練しておか
ないと、いざという時
に役に立たないなと思
います。

大塚法晴（元延岡河
川国道事務所長）
首藤正治（元延岡河
川国道事務所長）
森川幹夫（九州地方
整備局河川部長）
猪狩信浩（NPO法
人宮崎県防災士ネット
ワーク理事長）
福島宏一（元延岡市
消防団長）
亀長馨（元北方町川
水流区長）

五ヶ瀬町三ヶ所の土砂災害現場。近年は豪
雨災害が局地・甚大化している（平成17年
9月7日撮影。画像の一部を加工）



な台風があつて、戦中、
戦後、枕崎台風とかも
ありました。そういう
お年寄りから昔の台風
の話を聞いて言い伝え
ていくのも非常に大事
なのかなと感じております。

【杉尾】ありがとうございます。
【パネリスト】
杉尾哲（宮崎大学名
誉教授）
大塚法晴（元延岡河
川国道事務所長）
首藤正治（元延岡河
川国道事務所長）
森川幹夫（九州地方
整備局河川部長）
猪狩信浩（NPO法
人宮崎県防災士ネット
ワーク理事長）
福島宏一（元延岡市
消防団長）
亀長馨（元北方町川
水流区長）

災害、常日ごろから関心を

ネット情報どこをクリック普段から

防災・減災を考える
シンポジウムから――

あとは、戦前に大き
い

とですね。
ところが、初めてだ
となかなか難しいんで
すね。台風が来て初め
います。

てホームページに入る
んじゃなくて、どこを
クリックしたら何が出
てくるのかというのを
日常的に訓練しておか
ないと、いざという時
に役に立たないなと思
います。